

Title	藝文研究既刊總目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1960
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.10, (1960. 6) ,p.129- 132
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00100001-0129">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00100001-0129</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究 既刊總目次

◇第一號（一九五一年）美術學特集

創刊の辭……………西脇 順三郎

ミケルアンヂェロの聖母……………守屋 謙二

光琳肖像考……………菅沼 貞三

江戸板木繪第一回の開花期……………澁井 清

播磨國常福寺裏山經塚出土品に緣つて……………保坂 三郎

大佛師康助の遺作に就いて……………岡 直己

Palazzo Pitti——その原作者の問題について……………相内 武千雄

彙報

◇第二號（一九五二—三年）

物語の成長——宇津保物語の場合……………池田 彌三郎

俳諧月花の座……………清崎 敏郎

ジョン・セルデンのこと——その「茶話」をめぐって……………藤井 昇

ジュリアン・グリーンの内心の旅路……………佐分 純一

ブッテンプロオク以前……………江澤 建之助

西ドイツ文學活動の展望……………田中 次郎

彙報

◇第三號（一九五四年）

實用の文學——女と花……………森 武之助

住吉物語以後——繼子苛め譚の類型に關する一考察……………松本 隆信

聊齋志異研究序説——特に蒲松齡の執筆態度に就いて……………藤田 祐賢

Gentel Tradition の崩壊……………安原 基輔

アンドレ・マルロオの「孤獨」……………大濱 甫

北野天神緣起繪卷の諸特徵……………八代 修次

クライストの悲劇性……………高橋 文雄

彙報

◇第四號（一九五五年）

傳統の周圍——芭蕉・西鶴……………森 武之助

寺院僧侶の國典研究——主として中世をとりあげて……………佐佐木 一雄

曾我物語傳承論……………塚崎 進

紅樓夢の小説性——周汝昌の「紅樓夢新證」をめぐって

村松 暎

若きヘッセの人生態度乃至世界観……………井手 貢夫

反抗と絶望の黒人作家——Richard Wright——安原 基輔

現代英文法の諸傾向——特に口語法について——原澤 正喜

折口信夫教授講義題目

慶應義塾大學所藏聊齋志異關係資料目録

楽 報

◇第五號（一九五五年）

好色五人女——成立をめぐる試論……………榎谷 昭彦

近松世話物の考察（序）……………鈴木 昇

曾我物語傳承論——その二——……………塚崎 進

紅樓夢論争に對する批判……………村松 暎

トーマス・マンのゲーテ観——「ヴァイマルのロツテ」を中心として——小名木榮三郎

對話文學としての「ラモーの甥」——デイドロ研

究序説……………原 宏

資料紹介——「東洋之佳人」稿本、「繪入讀本外題

作者畫工書肆名目集」寫本……………森 武之助

楽 報

◇第六號（一九五六年）

明恵上人説話考……………佐佐木 一雄

稿本聊齋志異考勘記……………藤田 祐賢

曾國藩について……………佐藤 一郎

「中國に於ける品詞分類の標記について」——

「漢語詞義論争」の問題點……………川本 邦衛

シェリーにおける神の問題……………瀬下 良夫

リルケ文學解明におけるハイデッガーの誤謬……………塚 越 敏

アルベエル・カミュの思想と風土について（ジャ

ン・グルニエとの比較による一考察）……………片桐 邦郎

楽 報

◇第七號（一九五七年）

野守鏡にみられる宗教性……………佐佐木 一雄

おせんとおさん——西鶴の場合……………竹重 信幸

ヘルマン・ヘッセに於ける東洋思想概観……………飯田 國男

アンドレ・ジッド「ユリアンの旅」の成立につい

て……………若林 眞

テシーヌの "La Thebaide ou Les freres

enemis" について……………佐藤 眞

イホイッと能・序説 "At the Hawk's Well" と

"The Only Jealousy of Emer" に関する考察

を中心として……………石橋 裕

曾國藩と俗文學……………佐藤 一郎

Plautus における感嘆及び疑問の ut 十直説法

又は接續法の使用について……………藤井 昇

資料紹介——炎涼岸・女開科傳・知不足齋原本批

點聊齋志異……………藤田 祐賢

書評——Erwin Panofsky's, Early Netherlandish

Painting—its origins and character ……八代 修次

彙報

◇第八號（一九五八年）慶應義塾創立百年記念

小澤蘆庵論……………香川 景松

源氏物語における「いろいろのみ」の概念……………西村 亨

もうひとつの忠臣蔵——四谷怪談考……………仲井 幸二郎

伊勢物語眞名本に就いて……………伊藤 哲夫

内部の論理——ロマン主義詩學の興起にかんする

一考察……………由良 君美

シエクスピア喜劇に於ける扮装……………鈴木 周二

バルザック「ルイ・ランベール」について……………高山 鐵男

「ブルネレスキの穹窿」……………相内 武千雄

浮彫の種類について……………海津 忠雄

ツアワン著聖成吉思可汗の金言……………田中市郎衛門

彙報

◇第九號（一九五九年）

『太平記』作者の思想——「北野參詣人政道雜談事」

に現われた政道觀について……………長谷川 端

〈把 [pa]〉を含む形式について——その統辭論的

分析……………川本 邦衛

ジョン・ダンの "The Extrastie" ——詩の構造に

關する一考察……………和田 旦

絶對詩の課題の一つ——ヴァレリ・ゲオルゲ・ベ

ン……………深田 甫

ジェラール・ド・ネルヴァルに於ける「自然」の

イマージュに就いて……………小濱 俊郎

Malory の "The Tale of the Morte Arthur"

の言語について——Malory の英語の成長と體

系——……………小川 繁司

The Book of the Duchess に關する一考察……小長谷 彌高

彙報

編 集 後 記

◎本号も特定の主題に限らない研究業績の集積である。

◎第一号～第九号の購入御希望の方は、本会事務所に御照会をこ  
う。(各号定価二〇〇円、但し九号から三〇〇円)